

リシノプリル錠 5mg 「NIG」
 リシノプリル錠 10mg 「NIG」
 リシノプリル錠 20mg 「NIG」

【この薬は？】

販売名	リシノプリル錠 5mg 「NIG」 Lisinopril Tablets 5mg	リシノプリル錠 10mg 「NIG」 Lisinopril Tablets 10mg	リシノプリル錠 20mg 「NIG」 Lisinopril Tablets 20mg
一般名	リシノプリル水和物 Lisinopril Hydrate		
含有量 (1錠中)	5.45mg (無水物として 5mg)	10.9mg (無水物として 10mg)	21.8mg (無水物として 20mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・アンジオテンシン変換酵素（ACE）の働きを阻害することで、血管を収縮する作用のある体内の物質（アンジオテンシンⅡ）の生成を抑え、血圧を下げます。また、水分などの腎臓での再吸収を抑えて体内に貯まる水分量を減少させ、心臓への負荷を軽くすることで、血液の流れを改善させます。

- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

下記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が認められない場合

慢性心不全（軽症～中等症）

- ・慢性心不全（軽症～中等症）に使用する場合は、ジギタリス製剤、利尿剤などと併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にリシノプリル錠「NIG」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・過去に血管浮腫を経験したことがある人
- ・アフエレーシス^{※1}を受けている人で、デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器を使っている人
- ・血液透析^{※2}を受けている人で、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜（AN69）を使っている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレンを使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

※1 アフエレーシス：患者さんの血液中から不必要な成分を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法

※2 血液透析：患者さんの血液を体外へ送り出し、人工腎臓（透析装置）で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・脳血管に障害のある人
- ・高齢の人

○この薬には次のような併用してはいけない治療法があります。アフエレーシスや血液透析を受ける場合は、必ず医師に相談してください。

- ・アフエレーシスでデキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いる場合
- ・血液透析でアクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜を用いる場合

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状や腎機能などにあわせて、医師が決めます。
通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[高血圧症の場合]

[成人の場合]

1回量	10～20mg
飲む回数	1日1回

・重い高血圧または腎障害を伴う高血圧症の人は5mgから飲み始めることがあります。

[6歳以上の小児の場合]

1回量	0.07mg/kg
飲む回数	1日1回

・6歳以上の小児が飲む場合は1日20mgを超えません。

[慢性心不全（軽症～中等症）の場合]

1日量	5～10mg
飲む回数	1日1回

・ジギタリス製剤、利尿剤などと併用します。
・腎臓に障害がある人は2.5mgから飲み始めることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を1度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

過度の低血圧があらわれる可能性があります。

立ちくらみやめまいがあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人では、高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人には必要に応じて血液検査がおこなわれます。

- ・ 血圧が下がることにより、めまいやふらつきがあらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・ 手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・ この薬の飲み始めに一時的に急激な血圧の低下（立ちくらみ、めまい、頭痛）があらわれることがあるため、そのような場合には、医師に連絡してください。特に、次の人は十分注意してください。

【高血圧症の場合】

- ・ 重い高血圧症の人
- ・ 血液透析中の人
- ・ 利尿降圧剤を使用している人（特に最近使用を開始した人）
- ・ 厳重な減塩療法中の人
- ・ 過度の血圧の低下により心筋梗塞または脳血管に障害を起こす危険性のある人

【慢性心不全（軽症～中等症）の場合】

- ・ 腎臓に障害がある人
- ・ 利尿剤を使用している人
- ・ 厳重な減塩療法中の人
- ・ 低ナトリウム血症の人
- ・ 低血圧の人
- ・ 過度の血圧の低下により心筋梗塞または脳血管に障害を起こす危険性のある人

- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・ この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・ 妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・ 授乳中の方は、授乳を中止してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

〈妊娠と薬情報センター〉

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。













重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	まぶたのはれ、唇のはれ、舌のはれ、息苦しい、じんましん
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	唇がしびれる、手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ、筋肉が衰える、筋力の減退
膵炎 すいえん	吐き気、嘔吐（おうと）、胃・おなかの激しい痛み、背中 の痛み
中毒性表皮壊死融解 症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆ うかいしょう（テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れや すい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス・ジョ ンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐ ん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜 のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、 赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の 痛み
天疱瘡様症状 てんぼうそうようしょうじょう	全身の激しいかゆみ、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の 水ぶくれ（水疱）、破れやすい水ぶくれ（水疱）
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、 めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸（ど うき）や息切れ、皮膚が黄色くなる、褐色尿
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出 血が止まりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食 欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
抗利尿ホルモン不適合 分泌症候群（SIADH） こうりにょうホルモふてきご うぶんびつしょうこうぐん	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、関節の痛み、 全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、高熱、 全身の激しいかゆみ、ふらつき、立ちくらみ、けいれん
頭部	意識の低下、頭痛、めまい、頭が重い
顔面	鼻血
眼	まぶたのはれ、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜の ただれ、白目が黄色くなる

部位	自覚症状
口や喉	唇のはれ、舌のはれ、唇がしびれる、吐き気、嘔吐、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血
胸部	息苦しい、吐き気、動く時の動悸や息切れ
腹部	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、食欲不振
背中	背中での痛み
手・足	手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ、関節の痛み
皮膚	じんましん、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の水ぶくれ（水疱）、破れやすい水ぶくれ（水疱）、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血、かゆみ
筋肉	筋肉が衰える、筋力の減退
尿	尿がでない、尿量が減る、褐色尿、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	陰部の痛み、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

販売名	リシノプリル錠 5mg 「NIG」	リシノプリル錠 10mg 「NIG」	リシノプリル錠 20mg 「NIG」
PTP シート			
形状	片面1/2割線入り素錠		
	表	裏	側面
			
			
			
直径	6.5mm		8.0mm
厚さ	2.1mm		2.7mm
重さ	112.5mg		225mg
色	白色		白色
識別 コード	LI 5		LI 20

【この薬に含まれているのは？】

販売名	リシノプリル錠 5mg 「NIG」	リシノプリル錠 10mg 「NIG」	リシノプリル錠 20mg 「NIG」
有効成分	リシノプリル水和物		
添加物	アルファー化デンプン、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、炭酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、無水リン酸水素カルシウム		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
販 売 元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)
くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120) 039-215
受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）
製造販売元：日医工岐阜工場株式会社